

埼玉労山

埼玉県勤労者山岳連盟機関紙

発行:武笠真次

〒336-0011さいたま市浦和区高砂 4-1-5 ふじビル2階 編集:澤藤俊昭

TEL・FAX 048-838-0640

http://www.tozans.justhpbs.jp/

目次

- 1 P) 第2回評議会 報告
- 2 P) "、安全教育担当者会議報告
山スキー、地図読み講座、雪山告知板
- 3 P) 第17期登山学校8回「雪山入門」講座
- 4 P) "
- 5 P) 岩ネット報告、総会告示
- 6 P) 理事会報告、編集後記



埼玉労山 第2回評議会報告

【日時】 2013年1月27日(日) 午後1時30分～4時30分

【場所】 高鼻コミュニティセンター

今期の主な県連活動報告と各委員会の活動報告、ブロック活動の報告

そして来期活動に向けての組織拡大と強化に向けた事故防止と安全登山等の

46期の大まかな活動方針の骨子が提案され、総会議案として承認されました。



挨拶する 武笠理事長

去る一月二十七日、大宮の高鼻コミュニティセンターに於いて、埼玉県勤労者山岳連盟第二回評議会が開催されました。

開会挨拶後、議長に飯塚氏(秩父アルペン)、金子氏(三郷山の会)、書記に川嶋氏(日進山岳会)、染谷氏(山遊会ビスタリ)を選出。資格審査では加盟団体二十八団体で評議員定数(三十名)に対し、評議員(十七名)で評議会が成立している旨の報告がありました。

武笠理事長の挨拶では、昨年に引き続き、加盟団体の遭難防止と安全登山、また組織の拡大と強化を重点に県連活動に取り組んで来た事、そして総会に向けた準備を進め、今後も引き続きこうした取り組みを継続して行く旨の挨拶がありました。

続いて、全国総会で承認されながらも実施にあたり順延されていた「個人会員制度」いよいよスタートし、個人会員向けの管理システム利用と同時に一般会員も含めた「労山システム」の運用も開始された事の報告があり、個人データ自動的管理と山行経歴等の把握さらには、山行

中の情報や下山報告の受理システム等の応用も可能となり、事故対策や処理にも大いに期待出来る」と報告がされました。(詳細は全国臨時総会で討議・決定)

@県連活動報告として

今期の主な活動方針である組織拡大については、HPや登山学校を通し、若者や中高年登山者へ積極的な働きかけを行った。また全国連盟が作成した個人会員募集パンフやポスターを配布し、宣伝と会員拡大に努めた。

事故防止活動では、安全登山の柱を確立する為の恒例となった「安全登山講演会」の開催や「登山学校」、「遭難防止・安全教育担当者会議」や「救助隊活動」が定着し、安全意識の高揚と啓発がすすめられ、今後も引き続き継続して行きたいと報告されました。

その他、震災支援活動も多く、の会や個人の協力により積極的に取り組まれましたが、県連としては実施できないまま終わってしまいました。

@専門委員会報告

第二号議案の専門委員会活動報告が各担当者より報告がなされ、これまでの一年間の活動内容の報告があり、また来期の活動に向けた方針と取り組み等の提案がありました。

【事務局】加盟団体28団体

会員数634名13名増

理事会(3回)三役会議(2回)



会議の効率化と電子化報告に

【遭難防止・安全教育担当】

春山登山事故防止メッセージ、安全教育担当者会議(6月・1月)、安全登山講演会11/18(日)高鼻コミュニティセンター 40名参加(登山時報2月号掲載)

【自然保護委員会】4/22 足尾植樹(県連全体10団体70名参加)

5/27 クリーンハイク(22団体206名・193kg)10/27～28 関東自然保護交流集会参加(千葉)他 登山道放射能測定と東北支援活動参加。

【女性】委員会開催(5回)5/17 女性体力測定参加(7名)、6/10 女性安全登山講習会参加(8名)第12回東日本女性登山交流集会(20名参加)。

【ハイキング】委員会開催(パルコ)5回、全国HC学校参加(9/22～23)2/17 初級地図読み(11名)3/3 中級地図読み(12名)講習会実施。

【機関紙】176～183号発行。委員会体制・編集会議開催無し。寄稿原稿少なく、編集発行の遅れ等で迷惑をおかけしました。来期も読まれる機関紙と内容豊

かな機関紙づくりと編集や印刷軽減と効率化をめざします。

【海外】海外委員会開催は実施出来ず。情報収集や提供で加盟団体から多くの海外登山報告がありました。

【岩ネット】講師に水谷氏の協力を得て、今期は積極的に初級者の技術講習と「交流を目的に日和田山RCで実地。雨で中止された9月以外、10回延べ参加80名」でした。

【沢ネット】8/25～26 大滑沢(5名)9/29 秋の沢登り(中止)

【雪山】3/30～31 初級「雪山に泊まる」黒姫山 4/20～21 中級・雪稜「テント泊」日白山 14名

【救助隊】①役員会(6回)

②訓練・学習活動 5/13 妙義RC9名、7/9・22 沢技術机上・実技(11名)10/20・21 セルフレスキュー机上・実技(20名)

10/22 岩搬出学習会(9名)12/3 雪上技術学習会(8名)岩雪実技中止。関東ブロック深雪は順延。組織レスキュー技術向上を計り、併せて隊員個々の技術向上を充実と緊急出動体制を確実なものにしました。隊員29名

【登山学校】年間受講者二十四名、運営委員十二名全講座終了。

2/2 閉校式。各講座前の運営委員会実施。また受講者も会員・一般混合で経験・年齢もばらばらでしたが班編成と役割担当等で自信と受講生や運営委員との交流が出来た。来期も体制維持新たな山城・コースの開拓、講座の実施方法等を再検討し、レ

ベルアップを図ります。

【HP】掲載内容工夫・更新を実施。各委員会担当決定、県連からの情報提供と活動の掲載を呼び掛けました。加盟団体のHP利用・情報更新を呼びかけ、閲覧数を増やす努力をしました。引き続き、情報提供を。



【ブロック協議会】

西部：ブロック会議(回)

・足尾植樹 4/22 6団体 39名

高麗川交流ハイイク 11/18

「団体」2名、玉原スノーシュー

ー交流 2/24 44名

南部：ブロック会議(一回)

・赤城鈴ヶ岳交流ハイイク 19名

玉原スノーシュー交流 2/24

19名、ワールドヒース脱退。

中部：ブロック会議(3回)

・雪山交流 3/16～17 阿能川岳

北部：ブロック会議(無し)

その他、各ブロックでのクリーンハイイク等の取り組みが報告されました。

@第四十六期活動方針案

評議会に於いて、第四十六期総会の議案の提案と大まかな活動

方針の骨子が提案されました。昨年と同様に、①組織拡大 ②個人会員加入制度 ③新特別基金 ④事故防止 ⑤各ネット活動の充実 ⑥埼玉労山震災支援活動 ⑦その他

この中でも、会員拡大と個人会員加入制度(労山パートナーズ)について、「労山システム」の運用も開始される事で、会員数減少の抑制を図る為にも会員の知恵を出し合い、登山の魅力語り合える山仲間を作る。若い人を受け入れる会・クラブの体制作りを積極的に推進する。としています。登山学校を中心としてまた安全登山の普及と啓蒙活動を継続して行く事が提案されました。

@その他

議題に関する質疑と要望事項

【県連活動へ】

①総会代議員定数の確認

総会代議員の定数決定が、全国連盟届出(前年度の11月末)会員数の為、今期の会員数での改正希望あり。理事会で検討する事としました。

②その他 お知らせ

・第四十六期県連総会

3/24 AM9:30～

浦和コミセン第13集会室

最後に、議長・書記を解任して第二回評議会を終えました。以上、報告ならび提案された方針案の内容は、拍手でもって承認されました。



第十五回遭難防止

安全教育担当者会議報告

期日：1月27日(日)

9:30～12:00

場所：高鼻コミセン

出席：13団体 20名

県連理事 4名 含

今回は年末年始の豪雪と悪天による多発した冬山遭難事故報道記事、またこれまでに寄せられた「ヒヤリハット事例」から事故原因やその状況等の検討を行いました。

また、個人会員加入制度(労山パートナーズ)がスタートし「労山安全サポートシステム」も運用される事から、徳重博文救助隊長より、システムの説明と運用方法の説明がなされた。

その他、会で経験した事故事例として、埜歩富士見山の会

ハイキング委員会 主催

地図読み実技講習会

①25年2月17日(日) 初級

奥多摩・青梅丘陵

*好評の内に無事終わりました。(11名)

②25年3月 3日(日) 中級

奥多摩・高水三山

*講師 「平塚 晶人氏」、他

会津駒ヶ岳・下の沢遭難事故報告書をもとに、事故について話し合われた。

最後に、登山とアマチュア無線の関係、特に遭難時における非常通信の在り方について話題となり、日和田アルパイン・甲斐さんより冊子をいただきました。内容を検討した上で、総会資料として参考にさせていただきます。と思います。

引き続き、ヒヤリハット報告書は適宜、遭難防止・安全教育委員会まで提出して頂きたいと思っています。

(担当理事 尾手)



2013県連山スキー交流山行のお知らせ

- 期日 2013年3月3日(日)
- 山域 新潟県日白山(2万5千図：土樽)
- 目的 ・山スキー愛好労山会員の親睦、山スキー技術の向上
- 参加資格 ・埼玉労山加盟団体の会員、遭対基金5口以上加入
・山スキー用具一式を用意できること(雪崩ビーコン含む)
・ボーゲンターンなど、スキーの基礎技術があること
・アイゼン登行技術を有していること
- 行程 二居集落 830m～地王堂川～日白山 1631m～往路を戻る
※参加者でパーティ行動、会内で仲間がいない方もOKです
- 集合場所 二居集落 宿場の湯(駐車場) 午前8時
- 装備 冬用基本装備(ヤッケ、目出帽、オーバーグローブ、スパッツ等)
山スキー装備一式、アイゼン、ビーコン、ゾンデ、スコップ
※個人装備等については、別途相談します。
- 申し込み・問い合わせ
熊谷トレッキング同人 宮田幸男
携帯 090-2721-0949 (午後8時以降)
E-mail miyatan182@leaf.ocn.ne.jp

埼玉労山主催

“雪山ネットワーク”

山行案内!

①黒姫山(雪山初級・テント泊)

「1500m付近のブナ林にテントを張り、頂上(2053m)を往復します」

月日 3月30日(土)～3月31日(日)

*打合せ会：3/18(月)19時30分 パルコ 9F

②上越・日白山(雪山中級・雪洞泊)

「雪洞づくり・体験が行動の中心となります。登頂は、時間・天気によります」

月日 4月20日(土)～4月21日(日)

*打合せ会：4/15(月)19時30分 パルコ 9F

【問合せ・申し込み先】

担当理事 徳重博文(大宮労山) 救助隊長

TEL 048-664-6154 携帯 090-8841-6482



机上講習で



【机上講習】
今年の正月には多くの山岳遭難事故が発生し、講習はしっかりと聞かなければという気持ちで参加した。

講座では、軽部先生から雪山での装備とその使い方、アイゼンを使った歩き方、悪天候時の対処法、雪崩の原理と対処法、低温下での危険などを実体験などを交えながらお話しいただいた。特に登山学校に入校するきっかけとなった歩き方では、夏山での歩き方との違いを理解することができた。

装備では、翌日の自分の装備(夏山装備に毛が生えた程度)と比べながら聞いていると少し不安

【実技講習】
前日に那須岳付近の予想天気をネットで確認したとことでは、山頂付近の気温 -10°C 、風速 $\approx$ メートル、曇り。

体感気温は -10°C 以下になるので、本当にこの装備で大丈夫か少し不安になった。不安な装備は、目出帽、スパッツ無し。手袋は数年前のスキー用。防寒着

第8回講座

「雪山入門」を受講して

受講者 中川昌行 記



第17期 登山学校

第8回講座
「雪山入門」

机上 1月19日
(カルタスホール)

参加者 24名

実技 1月20日
(栃木・那須岳)

参加者 22名

安になってきた。講習終了後、目出帽だけは購入しようかと店を覗くが置いてなかったたので、そのまま翌日へ。

午後の後半では、高橋先生から雪崩にあった時の搜索に使うビーコンの使い方を教わった。実際に雪崩に合わないようになることが大事ではあるが、その後の対処まで知識として持つておく必要があることを再認識した。



峰の茶屋をめざして

着ることにした。ズボンは、合羽を着こみスパッツの代わりに足首を合羽とズボンのゴムでしっかりと締めた。靴下は、一枚のままと二枚重ねを悩んだ末、一枚のみとした。

再びバスに乗り込み、大丸温泉へ向かう。車内は緊張した雰囲気の流れていた。押し固められた雪の駐車場に到着し、転ばないように下車。風で雪が舞っている。気温は -5°C 。

すぐにアイゼン(私は六本爪の軽アイゼン)をつけ、班ごとに

は、数年前の防寒コート。東武東上線の柳瀬川から貸切バスで出発。天気は、快晴。スカイツリーがきれいに見えた。バスの中では、雪山登山講習の D で復習。気象状況に不安を感じながらこんなに穏やかならいいなと思った。

那須のインターに近づくにつれバスが左右に揺れているのを感じ、回りの木を見るとかなり強い風が吹いているのがわかった。準備を行う「お菓子の城」駐車場では、強風で雪が舞っていた。

防寒着の下には、セーターを

登山を開始した。準備運動は強風のため行わず、ゆっくり歩くことで代用となり、ゆっくりと雪の中を登っていった。

途中、道路を横切るところで耐風姿勢の練習をした。

ザックを揺すって強風に耐えられるか確認。最初は耐えるが、突然力の方を変えられ前につんのめった。足の開き方とピッケルへの体重のかけ方が不足しているのかと感じたが、高橋先生から「8点」と言われ何とかなるかと少し安心。

ロープウェーの建物で小休止をとった。ゆっくり歩いていくのに体からは、汗が噴き出してきたのでセーターを脱いだ。

峠の茶屋跡駐車場では、雪がなく、アスファルトの上は一面の水がはっていた。アイゼンをつけているおかげで、滑ることもなく進むことができた。

しかし、遮るものがないので、フードはしても風と巻き上がった雪がもろに顔にあたった。

ゆっくりと登っていくと鳥居が現れたが、雪が積もって潜れず脇を通った。このあたりから時々足が雪に突き刺さって倒れそうになり、雪が深いことを実感した。

また、雪が深いところは、風があまり強くなく舞い上がった雪だけが落ちてきていた。

樹林帯がなくなるところに出た途端、強風に見舞われた。そのためか、雪がなく岩が見えている。



耐風姿勢の重要性を認識できた。駒崎先生から一方向から風を受けないように注意が飛ぶ。むき出しの肌が凍傷になってしまわないための予防策とのこと。

目出帽の必要性を感じるが、短時間ならなくても何とかかなるのかなとも感じた。

運営委員で協議の結果、登山はこまめとなり、記念写真を撮って同じルートで下山を開始する。気温は -10°C 。

下山途中、左手にぼんやりと那須岳が見えた。

峠の茶屋跡駐車場手前にある東屋でアイゼンを外して、東屋で行動食をとった。

おにぎりは、凍って食べられないうと聞いていたので、保温袋に入れて携行。無事凍ることもなく食することができた。

保温袋に入れたペットボトルの水もまだ氷ることなく飲めていた。ザックのポケットのペットボトルは、少し凍りだした様子でした。

体を温めるために持ってきたカップ味噌汁は、寒さで箸が使えないような気がして手を出さず。

後から考えれば、箸の使い方を考えれば飲めたのかとも思う。また、寒い中での食事はフォークも持っていた方が便利なのかなとも感じた。

この休憩で、行動が止まったせいで左手の薬指と左足の中指が痛くなってくる。

前日の机上講習で、教えられた「動かして体を温める」を思いだし、手と足の指を開いたり閉じたりしてみた。

しかし、感覚に変化はない。そうこうしている間に出発準備となり、手の指は少し回復してきた。

ほんの少しの運動で回復することが実感できた。

運営委員の方が掘った雪洞を横目で見つつ、東屋から少し上に作られた「雪の弱層テスト」のところに移動した。

受講生が雪の柱を抱きかかえるように引張り、簡単にずれてしまう層があることを確認した。弱層面は、刀で切ったように斜めにまっすぐ切れていた。

「力はそんなに強くひかなかつた」とのこと、樹林帯でなければ十分雪崩の可能性があるとのこと。

この後、二班は新雪の中を歩きだし峠の茶屋跡駐車場の石垣の上に到着した。

何をやるのかと思ったらほぼ垂直の石垣を下りるという。どうやって???
高橋先生が、雪と一緒に滑り下りていった。近くに雪の亀裂が走り、雪が崩れるのかと思った

がそうはならなかった。
同じように滑り降りてみた。意
外とスピードはつかずゆつくり
と雪を崩しながら落ちていった。
最初は、恐怖を感じたが面白い。
他の受講生は、雪をピッケルで
掻き込みながら登っていた。凍
った駐車場は、雪のあるところ
を選んで歩行した。アイゼンな
しでも雪のあるところは滑らな
いことを確認した。
さらに下って、柳の枝でできた
和カンジキをトライした。
新雪の上を歩いても雪に足がは
まり込んでいかず、歩きやすく
て新雪の上を選んで歩いてみた。
このあたりから、足首に雪が入
っていることに気がついた。石
垣を滑り降りた時に合羽がたく
しあがつて入ったようだ。
スパッツの必要性を確認でき、
特に雪と遊ぶときは絶対必要だ
また、靴には水がしみてきてい
ないこともわかり、靴の防水性
にも驚いた。
この後も数回、雪の上を滑って
下山、潜ることがありその都度
雪が侵入したが、滑って降りる
のは楽しく、童心に戻ったよう
でした。
このあたりから雲が切れだし、
日が当たるようになった。
下り坂の向こうに駐車場が見え、
無事に戻ってこれたと一安心。
講師や運営委員のみなさんから、
天候が悪くて山頂まで行けなく
ても、安全な雪山の楽しみ方を
教わったような実技講習でした。
最後の講習まで長い間本当にあ
りがとうございました。



まだまだ元気な
頼もしい受講者達！

「雪山入門」を受講して

受講者 松本 孝子 記

【机上講習】

軽部先生作成の『雪山入門講
座』のテキストを受け取り登山
学校、最後の机上授業が始まり
ました。登山初心者の中には
雪山は怖い！雪山＝遭難しか頭
に浮かびません・・・寒い時に
もつと寒い雪山に行くなんて何
でかしら？理解に苦しみま
す・・・。

テキストには冬山へのいざな
いとあるのに内容は冬山の困難、
寒さ！！ほらやっぱり怖い事だ
らけ・・・冬山の気象、冬山の
危険、悪天候、雪崩、強風、凍
傷、低体温症・・・ワッ、ます
ます嫌！

怖い話して、十分な準備、体
力、知識、技術がどれだけ大切
かと理解した上で、冬山装備か
ら本格的な授業です、装備には
じっくり時間をかけ実物を見な
がらの解説、雪山では装備がと
ても大切と力説！私達も納得！
歩く基本、ピッケル、ビーコン
の使い方、気象、雪崩の解説と
多岐にわたる授業、最後の『雪
山で遊ぶ』で危険は装備と知識

で回避し冬山を楽しみましょう
と、まだまだ教えたい事があり
キリがありませんとおっしゃっ
ていました。

明日の実技講習怖くて嫌！と
思っていた私ですが、お借りし
たピッケルを持って雪山に行っ
てみようかなと思わせてくれる
授業でした。

テキストの締めくくりは、冬
になったら冬眠する熊さんでな
く、雪山を駆け回るカモシカに
なりましょう！明日は皆でカモ
シカになります！

【実技講習】

学生時代、一番苦手で嫌いな
科目は体育・・・好きな科目は
美術と家庭科、
好きな山は鎌倉アルプス、レベ
ルが低すぎ！こんな私がなぜこ
こに！！
ご迷惑をおかけします、すみま
せん先生方！！

最後の実技は七時に北浦和に
集合、バスで那須岳に時間通り
出発。

途中、お菓子の城でアイゼン意
外の装備をつけます、靴、アウ
ターウェア上下、スパッツなど、
風が強く木々が揺れています、
先生方が「今日は風が強いなあ
ー上はもつと強いからなあ」と
話しています、ワアどうしよう
迷惑をかけないよう頑張らなき
や！緊張しました。

午前十時二十二分大丸温泉駐
車場着ここからは班ごとの行動
です、私は1班、私以外は若者
達おばさん頑張ります！！アイ

ゼンをつけるのも皆さんスムー
ズ、昨夜主人に笑われながら練
習してよかったあー迷惑かけず
に済みました。

伊藤先生を先頭に私、若者達、
小松先生と続きます。

昨日のテキストは写真も多く初
心者でも分かりやすかった、早
速ピッケルを片手にアイゼンワ
ークです、いい天気空が青い、
雪が真っ白、気持ちいい！！

物足りなかったのか、1班の若
者1人がわざと新雪に入りラッ
セル・ワーク、元気だなあと感
心していたら先生から『それじ
や！1班先頭でラッセル・ワー
ク』と声がかかり若者が先頭で
嬉しそうに新雪をスイスイ！鎌
倉アルプスとはレベルが違うな
ーこのレベルの差を上手くま
めてくださる先生方の気の配り
方は絶妙です心から感謝しつ
つ進みます。

登るほど風が強くなり、気持ち
いいどころではありません、途
中ピッケルの持ち方や強風時の
姿勢、歩き方の基本などを学び
ながら、テキストを思い出し地
吹雪で飛ばされそうになりなが
ら先生のお話を真剣に聞いま
す！



まだ、余裕だったが・・・



雪洞に入って



雪崩の勉強と弱層テスト、本当
にパカッと容易に断面がずれ
ました

峰の茶屋入口に午後〇時三分
着、強風でここまでと決まり写
真を撮って下山です。
十二時五十六分お昼ご飯、行動
食の注意で飲み物はぬるめのお
湯がサッパリしていて寒い時に
は暖まる、おにぎりは冷たいの
でパンがいいですよと教えて頂
き助かりました！」度での食

事は寒かった！小松先生が振る
舞ってくれたお餅入りのお汁粉、
」度で食べるお汁粉はものす
ごく美味しかったです！！
お汁粉の後は、雪崩の勉強と弱
層テスト、本当にパカッと容易
に断面がずれました、雪山での
ビーコンの大切さも理解できま
した。

横穴式雪洞を先生方が掘ってく
ださり雪洞に入ったりと盛り沢
山な授業が続きます。
下山する途中、ラッセルで坂を
登る練習をしました、足が雪
にズブズブ入り足下が崩れるば
かりでどうとう登れませんでした
た・・・若者達はシッカリ登れ
てましたあー。

十四時三十七分 1班大丸温泉
駐車場に無事に到着！
ホッとして帰りのバスでは爆睡、
回ってきたマイクに驚き、寝ぼ



強風の中で記念撮影

けていてキチンと挨拶できませ
んでした、すみません・・・。
1班松本、雪山は寒かったで
す、装備、事前の準備、地図、
コンパス、行動食、雪崩、遭難、
沢山の事を学び感謝です！
1班で一緒に愛さん、優
しくフォローしてくれてありが
とう。
先生方、レベルの違う私達を分
け隔てなくご指導くださり心か
ら感謝しております、最後の授
業も楽しかったです、有り難う
ございました。



岩登りネット活動報告

月日…1月26日(日)

場所…日和田グレンデ

参加…合計 7名

【岩ネットに参加して】

1月26日、念願のクライミングデビイーを日和田山(男岩)で果たした。

9時に集合し、練習開始。

マルハの私は、手始めに松本理事からハーネスの装着方法やザイルとの接続方法等、用具の使用に関する説明を受けた。

その後、水谷講師から岩への手のかけ方や足の動かし方といった基本的動作の指導を受け、人生初のロッククライミングへ。

メンバーによるスムーズな動きを目的にしたりした私は、マルハとはいえ、過去の登山経験や参加者との年齢差を理由に、軽やかな動きをする自らを思い浮かべて岩へと取り付いた。

が、結果は…。いくら移動しないうちに行き場を失うほど、難しいものであったとは。

これは後でわかったことだが、私の動きは歩幅が広く、重心は常に体の中心に置かれたままで体重の移動がない。4、5歩進

むと、手足の伸びきったいわゆる大の字の体制となり、岩にべばりついたまま微動だすらできない状況に陥った。そこに、この冬一番の寒波で冷えた岩盤が指先の感覚を奪う。すぐさま耐えられなくなり、転落という結末が二度三度続いた。

水谷講師から、体重を左右に移動させるようにとのアドバイスが出る。続けて、松本理事からは、歩幅は狭く、次の足場を考えながら、動作を起こすようにとの指示が飛ぶ。両名の助言は的確で、ようやくそれらしい動き？ができるようになり、移動距離は飛躍的に伸びた。こんな状況で午前の部は終了となった。

動きの止まる昼食時間は体の冷えが加速する、と思いきや、水谷講師から「おしるこ」の差し入れがあった。この計らいには皆脱帽であった(水谷講師、ご馳走さまでした。)

午後の部となり、男岩の上部には日光が差し込むようになっていた。主観的な認識で申し訳ないが、両名から助言を得た後の動きは軽快で、登る度にその移動距離は伸びていった。

最終のトライとなった8、9本目には、テンションをかけてもらいながら、岩の最上部を目指した。やがて到達し、しばしザイルに身を預けてのひなたぼっことなった。そこから初動で立ち往生した辺りを見下ろした時、クライミング初日とはいえ、この日の成果に驚きを感じる

ともに、お二人による指導の大きさに感服した。

帰り支度後の打ち合わせで、次回の開催日は2月「日」となった。次回まで50日ほどの期間が空く。それまでに本日の教えを忘れやしないかと、イメージトレーニング励む今日このごろである。

所沢ハイキングクラブ

沼田 渉 記



12月～4月 県連活動報告・計画

- 12/ 1～2 登山学校「総合登山講座」 24名
西上州・鉾柄山～荒船山
- 12/ 3 救助隊雪上搬出技術学習会
- 12/ 5 三役会議
- 12/ 8 救助隊雪上搬出訓練(中止)
- 12/21 第10回理事会
- 12/24 岩ネット
(25年)
- 1/ 9 三役会議
- 1/17 西部ブロック会議、南部(1/18)
- 1/19.20 登山学校「雪山入門講座」那須岳
- 1/21 女性委員会
- 1/22 救助隊新年会
- 1/26 岩ネット 7名
- 1/27 遭難防止・安全教育担当者会議
第2回評議会
- 1/30 第11回理事会・HC委員会
- 2/ 2 登山学校閉校式
- 2/ 4 救助隊第6回役員会
- 2/ 6 三役会議
- 2/15 南部ブロック会議
- 2/16～17 全国総会
- 2/17 地図読み(初級)実技講座
- 2/23 岩ネット 8名
- 2/24 南・西部ブロック
玉原スノーシュー交流ハイク
- 2/25 登山学校準備会
- 2/27 第12回理事会
- 3/ 3 地図読み(中級)実技講座
山スキーネット(日白山)
- 3/ 6 三役会議
- 3/15 南部ブロック会議
- 3/16～17 中部ブロック雪山交流阿能川岳
- 3/18 雪山ネット打ち合わせ
- 3/21 第13回理事会
- 3/24 第46期埼玉県連総会
(浦和コミュニティセンター)
第13集会室

埼玉県勤労者山岳連盟 第46期定期総会開催のお知らせ

2013年度の活動方針などを討議し皆様とともに労山運動を進める為の定期総会を下記のとおり開催いたします。

日 時：3月24日(日)受付 AM9時～ 開会 9時30分～閉会 16時30分予定

場 所：さいたま市浦和コミュニティセンター10F 大13集会室

さいたま市浦和区高砂町 11-1 ☎048-887-6565

議 題 2012年度 活動報告、会計決算・会計監査報告

2013年度 活動方針(案)、予算(案)

2013年度 新役員選出など

*総会終了後、交流を深める為に懇親会を予定しております。多くの皆さんの参加をお願いします。

【連絡・問合せ先】 県連盟事務局長 木村哲也

〒361-0023 行田市長野 1816-3 TEL: 048-554-3429 080-1146-7760

メール: thtu2002@bb.knet.ne.jp

3/30～31 雪山ネット「雪山初級・テント泊」

頸城・黒姫山

4/ 1 救助隊総会 4/ 6 所沢総会

4/ 7 新座・峠山の会 総会

4/14 三郷山の会総会・20周年記念

4/15 雪山ネット打ち合わせ

4/20～21 雪山ネット「雪山中級・雪洞泊」

上越・日白山

4/27 わらび山の会総会・40周年記念

4/27～28 足尾植樹会



理事会報告

第11回理事会在が1月30日（水）さいたま市民活動サポートセンターで7名の出席で、行われました。第12回理事会在が2月27日（水）さいたま市民活動サポートセンターで13名の出席で、行われました。

*全国連盟活動

・2/16～17 労山第30期臨時総会（晴海）代議員3名…武笠徳重、木村、傍聴…尾手、佐藤

*県連全体活動

・県連評議会1/27役員13名、評議員17名。

【事務局】

・加盟団体新規…山楽童人グループノマジ（男4、女6名）代表…知久 隆

【財政】

・連盟費全期完納、各委員会決算報告書の提出、役員交通費他精算。

【機関紙】184号編集中、

【ホームページ】

・第30期全国臨時総会議案、雪山ネット案内、女性委員会報告登山学校第18期生募集機関紙183号掲載。

・新座山の会情報更新

【女性】1/21 女性委員会5名

・今年度の反省と来年度の予定・12/19 東日本交流集会反省会

【ハイキング】

「地図読み講習会」

①第一回（初級）2/17 青梅丘陵10名＋委員4名。

②第二回（中級）3/3 高水三山

【自然保護】

・足尾植樹会 4月28日（日）

【海外】

・新座山の会「マレーシア・キナバル山（20周年記念）2/8～12 15名

・三郷山の会 3/2～10 海外ハイキング 1名

【遭難防止・安全教育】

・1/27 担当者会議13団体20名、年末年始冬山事故、他安全登山講演会 登山時報2月号掲載される

【救助隊】2/4 役員会

・12/8～9 富士雪上訓練…悪天の中止。1/22 新年会

・4/1（月）救助隊総会

・4/13～14 関プロ雪搬出訓練

【登山学校】

・第8回講座「雪山入門」

・1/19 机上「1/20 実技「那須岳」

・2/2 登山学校閉校式

・2/25 第18期登山学校準備会、受講生募集（定員35名）…2/27 現在23名、残12名です。

【岩ネットワーク】日和田 RCT

・1/26（7名）・2/23（8名）

*次回 3/16 日和田山

【山スキーネット】

・3/3 上越・日白山（熊トレ、他）14名

【雪山ネットワーク】

・3/30～31「雪山初級テント泊」黒姫山 計画準備会3/18 パルコ9階

・4/20～21「雪山中級・雪洞泊」

上越日泊山又は越後八海山

計画準備会4/15 パルコ9階

【ブロック活動】

西部…12/13 1/17 会議

・2/24 玉原高原スノーシュー44名、

南部…1/18 2/15 ブロック会議

・2/24 玉原高原スノーシュー19名、次回会議3/15

中部…3/16～17 阿能川岳南尾

根（雪山のテント泊）交流

【加盟団体活動情報】

総会…所沢（4/6）峠（4/7）新座（4/7 20周年）三郷山の会（4/14 20周年）わらび山の会（4/27 40周年）

*議題

1、安全教育担当者会議ならび第2回評議会報告と課題

1/27 AM.PM 高鼻ロッセン

①総会代議員定数の確認

総会代議員の定数…今期は理事長提案により「前年度の2月末会員数」、来期は「今年度末の会員数」とし、総会で決定する事に。

②遭難時における非常通信・無線について…総会資料に添付。

2、県連総会について

期日 3月24日（日）

9:00～17:00

場所 浦和パルコ10F・やん

たま市浦和コミュニティセン

ター第13集会室

・議案書作成と検討

・委員会活動報告と方針案提出

決算と予算案…次回

役員選出（理事推薦・退任）

・総会当日 役割分担

横断幕（木村）受付（佐藤・

松本・嶋田）、議運（尾手）

役員選考（佐藤）司会（徳重）

・議長（中・北部）書記（西・南部）

・議案書印刷 1/23PM パルコ9F

・議題 活動報告等は38締め

活動方針・予算案は次回理事

会で検討。

5、その他

①全国連盟第30期臨時総会

・労山パートナーズ（個人会員制度）スタート、システム運用諸規則・規定等 決定。

代議員…3名出席

②関東ブロック協議会報告

・東北ブロック被災者「富士登山支援」計画あり

・2013年度 行事予定

事務局（千葉県）

自然保護交流集会（神奈川県）

10月末予定

救助隊合同深雪訓練（東京都）

4/13～14 マチガ沢

役員交流会（千葉県）9/7～8

次回 三役会議 3/6

次回 理事会日程3/27（水）

パルコ9階 市民活セン

以上。

澤藤 記



裏磐梯高原・五色沼にて

【編集後記】

3月（弥生）に入り、先ごろには春一番も吹くなど季節は寒い冬から確実に暖かな春の季節を迎えようとしています。久しぶりに散歩に出かけた見沼たんぼの暖かな陽だまりでは、早くもホトケノザやイヌフグリの小さな野草が可憐に咲き、住宅の中庭の紅白の梅も満開となり、水仙の花もみるみる内に大きく伸びて今にも開花しそうに花蕾が重たげです。

この時期、湯河原幕山や水戸の偕楽園等では梅祭りが始まり、伊豆河津では早咲き桜の河津桜と菜花の競演が、そしてまた両神村堂上（セツブン草）小鹿野町・四阿屋山（福寿草）橋本や片倉城址、佐野の三轟山（カタクリ）といったなじみの花の名所はこれから花見客で賑わいをみせる事と思います。

反面、山々ではまだまだ雪も深く冬の装いで、年末やここ春一番後にも大荒の天気が続き、日本海側や北海道の北国では降雪量が例年にない大記録となり、屋根の雪降ろしや除雪対策で大変と聞いています。現にスノーシューに出かけた裏磐梯高原や玉原高原でも半端じゃない雪に圧倒されてしまいました。

さて、機関紙担当として3年間機関紙発行に関わって来ましたが、このあたりで機関紙の内容や発行体制等の刷新も含めて、新たに機関紙担当者を選任していただけたらと思います。順番で言えば西部から南部ブロックと担当して来た経緯から、中部ブロックからの選任を希望するものです。

今期最後の機関紙発行を終えて、機関紙発行が遅れがちで不定期になってしまいました事、まずはお詫びし、今後とも皆様の積極的なご協力と原稿の寄稿をお願い致します。（澤）

県連機関紙「埼玉労山」

原稿募集中

県連に加盟する各山岳会のHPや会報、ニュースを閲覧していると、本当に積極的に山行や会運営活動をされています。

是非、最近の会山行記録等「会山行記録」や会の特徴やユニークな会活動等「会紹介・会の動き」の原稿を機関紙委員会に寄稿して下さい！また、特集として「わが会得意な山料理・鍋」、「故郷の山、里山」、また、「新年の冬山合宿、雪山山行記録」等の季節にあった記録やエッセーや紀行等も随時募集中です。

機関紙委員会 澤藤

sawahuzi1040yamato@hotmail.co.jp